

パンフレット活用の工夫として



日本でも各種団体が作成しているが「病院が置いてくれない」

→ **がん対策情報センターが**
「“マル適マーク”つけたら？」



米病院の患者図書
室入り口には各種冊
子がズラリ(上)スウ
ェディッシュMC(右)
MDアンダーソンCC



患者の力を改革の原動力に

- 国民の最も関心の高い政治課題は「社会保障」
 - 8月の読売新聞全国世論調査「総裁選の争点にすべきは？」
 - ①「社会保障」57%、②「景気・雇用対策」49%
 - 定例世論調査「内閣に優先的に取り組んで欲しい課題は？」
昨年9月以来、首位は「社会保障制度改革」
- もう「患者」しかいない！？
 - 政府は、給付抑制・保険料アップを繰り返し・・・
 - 医師会、学会の限界？ 現場の医療者の疲弊
 - 保険者団体の限界？
 - 一般国民（潜在患者）も「患者になって初めて分かった」

担うべき新たな役割

● これまでの患者会

- 会の中で患者同士支え合い、希望を与え・もらう
- 治療に役立つ情報交換
- 一方でグチ・・・未熟な権利意識

● ファースト・ステップとして

- 患者の声を社会に届け、意識を高めよう
- 医療現場の現状を、患者視点から問題提起

● 次のステージへ

- 医療政策決定の場に参加して、医療者、行政と協力して医療を変える責任、自覚を
- ボランティアとして患者支援活動に参加(家族、友人らも)